



2020年7月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年12月11日

上場会社名 株式会社ジャパンミート 上場取引所 東
 コード番号 3539 URL <http://www.japanmeat.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 境 正博
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 杉山 洋子 (TEL) 03 (6453) 6810
 四半期報告書提出予定日 2019年12月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年7月期第1四半期の連結業績 (2019年8月1日～2019年10月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年7月期第1四半期	29,861	10.2	856	△8.4	890	△7.0	646	19.6
2019年7月期第1四半期	27,090	2.8	934	22.8	957	27.1	540	30.9

(注) 包括利益 2020年7月期第1四半期 680百万円(29.3%) 2019年7月期第1四半期 525百万円(29.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年7月期第1四半期	24.24	—
2019年7月期第1四半期	20.28	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年7月期第1四半期	43,729	26,322	60.1
2019年7月期	44,441	25,909	58.2

(参考) 自己資本 2020年7月期第1四半期 26,265百万円 2019年7月期 25,856百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年7月期	—	10.00	—	10.00	20.00
2020年7月期	—	—	—	—	—
2020年7月期(予想)	—	10.00	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年7月期の連結業績予想 (2019年8月1日～2020年7月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	120,611	6.5	4,937	7.3	4,952	4.2	3,201	120.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年7月期1Q	26,679,500株	2019年7月期	26,679,500株
② 期末自己株式数	2020年7月期1Q	20,830株	2019年7月期	20,830株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年7月期1Q	26,658,670株	2019年7月期1Q	26,636,703株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(業績の状況)

当第1四半期連結累計期間(2019年8月1日～2019年10月31日)における我が国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善を通じて緩やかな回復基調で推移しておりますが、米中通商問題や中国経済の減速など、海外経済の不確実性によって景気の先行きは不透明な状況が続いております。

食品小売業界におきましては、業種業態の垣根を越えた販売競争の激化や、消費増税に伴う消費者心理の冷え込みによる買い控え、人手不足を背景とした人件費や物流費のコスト上昇など、厳しい事業環境が続いております。

当第1四半期連結累計期間における経営成績は、スーパーマーケット事業の既存店の業績が順調に推移したこと、前連結会計年度に当社グループ入りした株式会社タジマの店舗及び、前連結会計年度に新規出店した5店舗の寄与があり、売上高は29,861百万円と前年同四半期に比べ2,771百万円(10.2%)の増収となりました。

一方、利益面におきましては、その他のイベント関連事業で開催いたしました「肉フェス」において、台風や悪天候に見舞われたことで開催日を短縮したことが影響し、営業利益は856百万円と前年同四半期に比べ78百万円(8.4%)の減益、経常利益は890百万円と前年同四半期に比べ67百万円(7.0%)の減益となりました。

また、当社子会社の店舗退去に伴う受取補償金300百万円を特別利益に計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は646百万円と前年同四半期に比べ106百万円(19.6%)の増益となりました。

当社グループにおける事業セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(スーパーマーケット事業)

スーパーマーケット事業につきましては、5つの店舗業態で構成されております。

(a) 大型商業施設内店舗「ジャパンミート生鮮館」

「ジャパンミート生鮮館」は商圏が広く、集客力のあるホームセンター「ジョイフル本田」、「ジョイフルエーカー」及び「マルイ」等の大型商業施設内において14店舗展開しております。精肉売場を核とし、青果・鮮魚・惣菜の専門性を強調すること、顧客に幅広く支持されるような商品を売場に展開することで、ファミリー層を中心に楽しくお買い物ができる売場の構築に努めてまいりました。

(b) 関東圏単独店舗「ジャパンミート卸売市場」

「ジャパンミート卸売市場」は関東圏近郊のロードサイドにおいて9店舗展開しており、「ジャパンミート生鮮館」を小型化した単独店舗であります。生鮮食品の専門性を強調した店舗の特徴を活かし、品揃えや商品力において差別化を図ってまいりました。

(c) 株式会社パワーマートが運営する「パワーマート」

「パワーマート」は茨城県、栃木県の北関東で5店舗展開しております。「ジャパンミート生鮮館」同様に売場毎の専門性を強調した体制で運営してまいりました。

(d) 株式会社花正が運営する業務用スーパー「肉のハナマサ」

東京都内を中心に業務用スーパー「肉のハナマサ」等を53店舗展開しております。飲食店事業者のプロが日々の仕入先として利用できるよう、商品を大容量で販売するとともに、一般家庭の顧客の買物需要にも応えられる品揃えをすることで、スーパーマーケットとは差別化された「ホールセールストア」を運営してまいりました。

(e) その他「食肉卸売センターMEAT Meet」、「スーパーマーケットタジマ」

埼玉県東部エリアを中心に「スーパーマーケットタジマ」を営む株式会社タジマを、2019年5月に子会社化いたしました。当社グループ入り後3店舗のリニューアルを行い、屋号を「食肉卸売センターMEAT Meet」に変更いたしました。「食肉卸売センターMEAT Meet」も「ジャパンミート生鮮館」、「ジャパンミート卸売市場」同様に生鮮食品、特に精肉売場の専門性を特徴とした体制で運営してまいりました。

店舗の状況としましては、2019年10月に「スーパーマーケットタジマ」新栄店(埼玉県草加市)のリニューアルを行い、屋号を「食肉卸売センターMEAT Meet」に変更いたしました。また、2019年9月に「肉のハナマサ」日本橋宝町店(東京都中央区)、「スーパーマーケットタジマ」大里店(埼玉県越谷市)を閉店いたしま

した。これにより、当第1四半期連結累計期間末時点におけるスーパーマーケット事業の店舗数は87店舗になりました。

当第1四半期連結累計期間における経営成績につきましては、既存店の業績が順調に推移したことと、前連結会計年度より当社グループ入りした株式会社タジマの店舗及び、前連結会計年度に新規出店した4店舗の売上寄与により、売上高は28,759百万円と前年同四半期に比べ2,790百万円(10.7%)の増収、セグメント利益(営業利益)は843百万円と前年同四半期と比べ21百万円(2.6%)の増益となりました。

(その他)

その他の事業につきましては、外食事業、イベント関連事業、アウトソーシング事業で構成されております。

(a)株式会社ジャパンドリカが運営する外食事業「漫遊亭」

外食事業につきましては、「焼肉や漫遊亭」などを16店舗展開しております。得意とする精肉の調達力、ノウハウを活かし、新鮮で高品質な料理を安価でご提供できるよう努めてまいりました。また、美味しい商品と快適な食事空間を提供するという基本方針のもと、新メニューの開発をすすめ、他店との差別化を図り、お客様が楽しく食事ができる店づくりに努めてまいりました。

(b) AATJ株式会社が展開する「肉フェス」などのイベント関連事業

イベント関連事業につきましては、「肉フェス」、「餃子フェス」など食に関わるイベントの展開、国内外のイベント制作、運営などを行っております。当第1四半期連結累計期間の主な活動状況といたしまして、「肉ワインフェス横浜赤レンガ倉庫」(神奈川県横浜市)、「肉フェス国営昭和記念公園2019」(東京都立川市)を開催いたしました。今後も食肉及び地域の食文化の魅力を国内外に発信する取り組みを行ってまいります。

(c)アウトソーシング事業を展開する株式会社アクティブマーケティングシステム

アウトソーシング事業につきましては、スーパーマーケット業界における、レジ業務の受託代行サービスを行っております。スーパーマーケットの実務経験に基づいた独自のノウハウによって、顧客にニーズに応える質の高いサービスを提供しております。レジ業務のプロフェッショナルとして新規顧客開拓を行い、業容の拡大に努めてまいります。

当第1四半期連結累計期間における経営成績につきましては、売上高は1,596百万円と前年同四半期と比べ38百万円(2.5%)の増収となりました。一方、利益面におきましては、イベント関連事業で開催いたしました「肉フェス」において、台風や悪天候に見舞われたことで開催日を短縮したこと、アウトソーシング事業において新規受託に伴い研修費や人件費が増加したことが影響し、セグメント利益(営業利益)は4百万円と前年同四半期と比べ99百万円(95.8%)の減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間における総資産は、前連結会計年度と比べ711百万円減少し、43,729百万円(前連結会計年度末比1.6%減)となりました。流動資産は286百万円減少し、固定資産は425百万円減少しております。主な要因は、法人税等の支払いによる現金及び預金の減少465百万円、減価償却を含む有形固定資産の減少131百万円及びのれんの償却を含む無形固定資産の減少106百万円によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度と比べ1,125百万円減少し、17,407百万円(前連結会計年度末比6.1%減)となりました。主な要因は、法人税等の支払いによる未払法人税等の減少782百万円によるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度と比べ413百万円増加し、26,322百万円(前連結会計年度末比1.6%増)となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上646百万円の方、配当金の支払いによる利益剰余金の減少266百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、2019年9月12日付発表の「2019年7月期 決算短信」の記載から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年7月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,685	14,220
売掛金	1,410	1,605
たな卸資産	4,242	4,185
その他	1,732	1,772
流動資産合計	22,070	21,784
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,830	7,753
その他(純額)	4,790	4,736
有形固定資産合計	12,620	12,489
無形固定資産		
のれん	2,885	2,765
その他	618	631
無形固定資産合計	3,503	3,397
投資その他の資産		
敷金及び保証金	4,721	4,604
その他	1,559	1,487
貸倒引当金	△33	△33
投資その他の資産合計	6,247	6,058
固定資産合計	22,371	21,945
資産合計	44,441	43,729

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年7月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年10月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,742	5,638
短期借入金	2,446	2,446
1年内返済予定の長期借入金	590	572
未払法人税等	1,267	484
賞与引当金	357	182
その他	3,464	3,579
流動負債合計	13,868	12,904
固定負債		
長期借入金	2,703	2,574
退職給付に係る負債	458	472
資産除去債務	472	470
その他	1,028	985
固定負債合計	4,663	4,502
負債合計	18,532	17,407
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,229	2,229
資本剰余金	2,357	2,357
利益剰余金	21,158	21,538
自己株式	△17	△17
株主資本合計	25,729	26,108
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	146	176
退職給付に係る調整累計額	△19	△19
その他の包括利益累計額合計	127	157
非支配株主持分	53	57
純資産合計	25,909	26,322
負債純資産合計	44,441	43,729

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年8月1日 至2018年10月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年8月1日 至2019年10月31日)
売上高	27,090	29,861
売上原価	19,411	21,525
売上総利益	7,678	8,336
販売費及び一般管理費	6,743	7,480
営業利益	934	856
営業外収益		
受取ロイヤリティー	9	4
受取手数料	2	3
受取精算金	—	12
その他	19	23
営業外収益合計	31	44
営業外費用		
支払利息	6	7
その他	1	2
営業外費用合計	8	9
経常利益	957	890
特別利益		
受取補償金	—	300
特別利益合計	—	300
税金等調整前四半期純利益	957	1,190
法人税、住民税及び事業税	297	436
法人税等調整額	110	104
法人税等合計	408	540
四半期純利益	549	649
非支配株主に帰属する四半期純利益	9	3
親会社株主に帰属する四半期純利益	540	646

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年8月1日 至2018年10月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年8月1日 至2019年10月31日)
四半期純利益	549	649
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△24	29
退職給付に係る調整額	0	0
その他の包括利益合計	△23	30
四半期包括利益	525	680
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	516	676
非支配株主に係る四半期包括利益	9	3

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第1四半期連結累計期間(自 2018年8月1日 至 2018年10月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年10月22日 定時株主総会	普通株式	533	20	2018年7月31日	2018年10月23日	利益剰余金

(注) 1株当たり配当額には、東京証券取引所市場第一部指定記念配当10円が含まれております。

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2019年8月1日 至 2019年10月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年10月21日 定時株主総会	普通株式	266	10	2019年7月31日	2019年10月23日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

連結の範囲の重要な変更

当第1四半期連結会計期間より、新たに設立した株式会社ジャパンミート分割準備会社を連結の範囲に含めております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2018年8月1日 至 2018年10月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	スーパー マーケット事業				
売上高					
外部顧客への売上高	25,798	1,291	27,090	—	27,090
セグメント間の内部売上高 又は振替高	170	265	436	△436	—
計	25,968	1,557	27,526	△436	27,090
セグメント利益	822	104	926	8	934

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、外食事業、イベント関連事業、アウトソーシング事業を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額8百万円は、セグメント間取引消去額であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2019年8月1日 至 2019年10月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	スーパー マーケット事業				
売上高					
外部顧客への売上高	28,578	1,282	29,861	—	29,861
セグメント間の内部売上高 又は振替高	180	313	493	△493	—
計	28,759	1,596	30,355	△493	29,861
セグメント利益	843	4	847	8	856

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、外食事業、イベント関連事業、アウトソーシング事業を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額8百万円は、セグメント間取引消去額であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。